

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR208B	TCR_通訳演習 III_B	
科目名（コード）	TCR208	TCR_通訳演習 III_B	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	4単位60
授業担当者	浅沼 渉	時間数	
成績評価教員	浅沼 渉	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるように、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N2の漢字と語彙を学ぶ。漢字については1年生で習ったことを復習しながら、新出漢字や語彙を増やす。就活やビジネスで使用する語彙を理解し、頻出漢字を書けるようになる。
授業時間外の学修	予習：漢字は事前に3回ずつ書いて意味を確認しておくこと。 復習：授業で学んだ漢字の読みと語彙を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	配布したプリントは各自ファイルしておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	生活に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第1章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
2	町に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第1章テスト 第2章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
3	文化に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第2章テスト 第3章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
4	健康に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第3章テスト 第4章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
5	仕事に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第4章テスト 第5章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
6	会社に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第5章テスト 第6章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
7	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
8	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
9	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
10	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
11	ドラマに関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第7章テスト 第8章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
12	人間関係に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第8章テスト 第9章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
13		前期のまとめ
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『新完全マスター語彙N2』 『漢字マスターN2』
参考文献・資料等	適宜配布
備考	進度は変更になることがあります。 火曜日4限